

2/2 島の特産品で陣中見舞い

楽天イーグルス久米島協力が、島内、県内の企業などから寄贈された車エビや赤鶏、泡盛、キハダマグロ、バーデハウスのフリーパスなどを陣中見舞いとして届けました。

大田町長は「おかえりなさい!久米島の特産品をたくさん食べて、飲んで、日本一奪還を目指して頑張ってください」と激励しました。



2/4 選手とのふれあい・久米島フェスティバル

久米島ホテルドームで「久米島フェスティバル」(楽天協会主催)が開催されました。選手らと協会員、少年野球チームの子どもたちと福島の子どもの保養施設「沖縄・球美の里」に訪れている子どもたち、約300人が交流しました。協会員らは選手らと一緒に浮き球ベースボール、ストラックアウト、フリスビーなどのゲームを楽しみ、間近で見ると選手らに感激していました。



2/5 新人選手・島内観光

キャンプ初の休日は、新入団選手10人が久米島観光を楽しみました。海ぶどう養殖場(久米島海洋深層水開発(株))では摘み取り選別体験を行い、新鮮プチプチ海ぶどうの試食を行いました。泡盛工場(久米島の久米仙)見学では、高卒の2名の選手を除く8名が参加し「勝利の壺」に泡盛を注ぎ、優勝奪還を誓いました。最後は約10種類ある泡盛をおいしくいただきました。



2/6 ハイタッチ!小学校であいさつ運動

久米島小学校と美崎小学校で、選手たちによるあいさつ運動が行われました。梨田監督・池山2軍監督と新入団選手らが子どもたちとハイタッチで元気に朝のあいさつを交わしました!



2/11 ミニゲームで楽天ユニフォームをゲット

2月11日と12日の両日、久米島野球場ではミニゲームをクリアすると楽天グッズがもらえるイベントが行われました。球場を訪れた子どもらはストラックアウトや輪投げに挑戦し、ゲームをクリアしてユニフォームや帽子をゲットしました。



2/12 楽天イーグルス一軍見送り

2月12日、楽天イーグルス一軍は金武キャンプへ向け久米島をあとにしました。

久米島空港では大田町長をはじめ協会や関係者のほか、多くのファンが詰めかけました。協会からは選手一人一人にバレンタインチョコを手渡し、明日からはじまる金武キャンプへ送り出しました。



目指せ!日本一奪還! 楽天イーグルス春季キャンプ2018



花看板でお出迎え

「東北楽天ゴールデンイーグルス」のロゴマークが描かれた「花看板」が久米島空港に設置されました。マリーゴールドとベゴニア約1,800株を使って、久米島高校園芸科が、歓迎の意を込めて製作しました。



1/30 めんそ〜れ久米島 歓迎セレモニー

東北楽天ゴールデンイーグルスが1月30日に、仙台空港からチャーター便で久米島へ到着しました。久米島空港では、大田町長をはじめ楽天イーグルス久米島協会や町民らが出迎えました。梨田監督を筆頭に、選手らが空港ロビーに入ってくると歓声が沸き上がりました。花束贈呈が行われ、梨田監督は「しっかりと体を鍛え、1年間戦える体力をつける」と意気込みを述べました。



2/1 星野仙一副会長の冥福を祈る

2月1日と2日の両日、久米島野球場には、1月に他界した球団の星野仙一副会長をしのぶ献花台が設置されました。大田町長は昨年11月に東京で行われた星野氏の野球殿堂入りを祝う会に出席しており、再会を望んでいましたが叶わぬ願いとなりました。献花台では多くの町民やファンらが花を手向けて故人の冥福を祈りました。

